

会計年度任用職員について

徳野 衆 議員

問 来年度から会計年度任用職員に移行する臨時職員は市民と接する業務が多く、相当数の非正規職員によって公務が支えられており、これまでも勤務条件の改善を訴えてきた。非正規職員の各種手当の改善や新制度における任用はどのようになるのか。

答 日額・時給臨時職員は常勤職員に準じた地域手当と通勤手当相当分を支給し、新たに期末手当も支給します。月額臨時職員は期末手当の支給率が下がりますが、地域手当を支給し、年収の水準は守ります。また、制度移行前の臨時・非常勤職員を従前の勤務実績に基づく能力実証を行い、積極的に任用し、欠員については公募します。
・他の質問項目：介護関連について

ごみ処理の広域化について

尾口 五三 議員

問 本市、奈良市、生駒市、平群町、斑鳩町の5市町によるごみ処理の広域化勉強会の現状はどうか。本市の現在の清掃センターはいつまで使用可能で、新しいセンターの建設にはどのくらいの期間がかかるか。広域化には課題もあり、これからも本市単独でごみ処理すべきと考えるが、市として単独か、広域化かどう考えているか。

答 平成29年2月から勉強会がスタート、昨年12月に中間報告書を作成しました。今月、副市長が初めて出席して11回目が開催されます。現センターは長寿命化から15年、令和14年度末まで使用可能で、新センター建設には約10年を要します。そう遠くない時期に単独か広域化か、様々な角度から検討して方針を決定します。

新庁舎建て替えの広報について

西川 貴雄 議員

問 新庁舎の建設事業について、市民の皆様に関心を持って頂くためにも広報活動は重要だと考えるが、今までどのような広報を行ってきたのか。これから建設工事が始まるが、工事の進み具合や市民の皆様への影響など随時広報活動を行なって頂きたい。

答 新庁舎建設事業は基本計画・基本設計策定など節目ごとに市広報紙「つながり」やホームページなどを中心に広報を行なってきています。建設工事が始まれば、工事の影響等を庁舎の入口に掲示し、同時にホームページや「つながり」を活用して工事の進捗状況などを写真付きで掲載して積極的に広報活動を行い、本事業の市民の皆様への周知を図っていきます。

奈良国体に向けてスポーツの盛んな

まちづくりについて 金銅 成悟 議員

問 ①グラウンドの維持管理に精通した市文化体育振興公社の職員・体制を充実させることで、各施設を充実させ、スポーツの盛んな大和郡山市づくりをするつもりはあるのか。②これまでに何度も要望をしているが、市営球場のスコアボード等の改修は？③奈良県が令和12年に開催を目指す奈良国体に向けて、市が取り組む計画は？

答 ①市文化体育振興公社で新たに職員採用の予定はなく、在籍職員のスキルアップを図ること等により、施設の管理運営の充実に努めます。②市営球場のスコアボードなど大きな費用を要する改修については、市全体の事業計画と財源を踏まえて検討します。③今後、市としても県と連携して必要な取り組みを進めます。

郡山南小学校の教員間いじめ問題について

丸谷 利一 議員

問 郡山南小学校で4名の先生方が教師間のいじめによって休職されている。学校・市教委はいじめはなかったとしているが、4名もの先生方が休職されているのはいじめ・パワーハラが原因だ。いじめが発覚しても、人事を含め具体策を取らず、放置してきた学校側と市教委の責任は重い。今後の同校の正常化についての具体策について。

答 今回、市教委として客観的な立場で全教職員から聞き取り調査をしましたが、いじめ・パワーハラスメントに当たる行為があったという事は確認できませんでした。お互いが話し合い、誤解や行き違いがあれば、その解消ができるように、そして、何よりも子どもたちが落ち着いて学習に励むことができるよう支援してまいります。

子ども達の未来のための学校の働き方改革について

西村千鶴子 議員

問 予測不能な未来社会を、子ども達が自立的に生きるための学校教育の改善・充実には、教職員の長時間勤務の解消や、メンタルケアなど、思い切った働き方改革が早急に必要です。今後の市の具体的な方針と予定は？

答 既に学校行事や事務作業を見直し、夏期休業中の閉校日や中学校部活動の休養日設定など、教員が休みやすい工夫も進めております。効率化のためICT機器の整備や夜間の留守番電話の活用も考えております。今後も保護者や地域の方々の理解を得ながら教員の本来業務について議論し、教育の質の向上につながる働き方改革を進めてまいります。年度末を目途に「学校の業務改善推進プラン」を策定したいと考えております。